2019年5月吉日

会員各位

ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」

# シリーズ「風を考える」

# 第4回　建築物の設計で考慮すべき動的な風圧・風力、設計用風荷重

　　　　　　　　　　　　　　　講師：東京工芸大学名誉教授　田村幸雄先生

共催　日本建築構造技術者協会　JSCA東京（JSCA）

東京構造設計事務所協会（ASDO）

　　改元騒ぎが一段落して、ようやく日常が元に戻ったような昨今ですが、皆様におかれましてはますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より、ASDO・JSCA共催の当技術研修会にご参加頂きありがとうございます。

現在当研修会では、昨年10月よりこれまで3回に渡ってシリーズ「風を考える」を続けております。その間、講師をお願いしております東京工芸大学名誉教授田村幸雄先生には、ご多忙中にもかかわらず、毎回素晴らしい資料の配布とともに、興味深いお話をして頂いております。お陰様で毎回120名を超える熱心な参加者を得て、熱気のこもった研修会となっております。今回はその最終回となるシリーズ第4回目のご案内です。

今回の講義内容につきましては、田村先生より下記の通り皆様へのメッセージを頂いております。これまで同様、建築物の設計で考慮すべき風の問題に関して、多彩なお話ご用意して頂いております。またテーマの最終回恒例となっております、講義終了後に先生を囲んでの懇談会も予定しておりますので、あわせてご参加頂きますようご案内申し上げます。

田村先生よりのメッセージ

第４回の講義では、建築物の空力的特性、風応答、歩行者レベルの風への形状の影響、耐風設計用の減衰定数等に関連して、以下の項目について紹介します。

（１）種々の形状（４５種類）を持つ超高層建築物の空力的特性（平均風力、変動風力、風

力のスペクトル）、ヘリカル建物のねじり角の影響、多角形断面の辺数の影響、風力

の組合わせへの影響、風応答の比較、局部風圧への影響

（２）種々の形状（４０種類）を持つ超高層建築物周辺の歩行者レベルの強風特性、最大増

速率、強風域の面積、隅角部形状の影響、ヘリカル建物のねじり角の影響、多角形断

面の辺数の影響

（３）歩行者レベルの風に対する建物高さの影響、建物幅の影響、建物サイズの影響

（４）耐風設計用の減衰定数、減衰の物理的要因、振幅依存性、減衰評価手法、建築物の減

衰データベース、付着－滑りモデル、設計用減衰定数の予測式と標準的値

開催概要

日時　：2019年7月2日（火）18：00～20：00

受付 ：17時30分より

場所　：日大理工学部駿河台校舎1号館　6階　CSTホール

プログラム： 司会 　市村隆幸（㈱親交設計）

18:00～18:05　　趣旨説明　 金田勝徳（㈱構造計画プラス・ワン）

18:05～19:35　　講演　東京工芸大学名誉教授　田村幸雄先生

19:35～20:00　　質疑応答

20:10～21:30　　意見交換会（懇談会）

資料代　： JSCA会員／￥1,500　　非会員／￥2,000　　学生／￥500

意見交換会参加費　：　￥3,000

**ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」**

**第４回　建築物の設計で考慮すべき動的な風圧・風力、設計用風荷重**

**申 込 方 法**

　　1. 申 込 期 間 　：2019年6月20日(木)まで（定員になり次第締切）

2. 会費納入方法　：当日受付にてお支払いください。

　　　　　　　　　　　　　※なるべくお釣りのないようにお願いいたします。

　　3. 参　 加　 票　：開催日の一週間前を目途にＥメールにて配信いたします。

申込先　：一般社団法人日本建築構造技術者協会　JSCA東京

メールまたはＦＡＸにてお申し込み願います。

**E-mail　jsca-tyo@jsca.or.jp**　 FAX 03-3262-8486

JSCA会員　　**・**　　非会員　・　学生

参加希望：　　技術講座のみ　　技術講座及び意見交換会　（どちらかに〇印を付してください）

フリガナ：

参加者名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　JSCA会員番号：

勤務先または学校名：

連絡先ＴＥＬ：　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ：

Ｅ-mail：

※メールでお申し込みの場合は、件名に**「建築物の設計で考慮すべき動的な風圧・風力、設計用風荷重」申込み** と明記して下さい。

JSCA建築構造士登録更新のための評価点申請中

建築ＣＰＤ情報提供制度対象講習会申請中

JSCA建築構造士の方は、登録証を当日必ずご持参のうえ受付にてご提示ください。